



袋井市議会議員

# 立石やすひろの 議会レポート

Vol.13  
令和7年2月発行

## 任期4年間の活動をふり返る



整備が進む浅羽海岸の防潮堤

### ご挨拶

春浅く風がまだ冷たい今日この頃、いかがお過ごしですか。  
私は、この4月で議員としての任期4年が終了します。  
皆様のご意見をいただく中、現場主義、民間企業目線で  
市政のチェックと政策提言、地域課題の解決に取り組んでまいりました。  
今回は、任期4年間の活動をふり返りレポートします。



#### contents

- 11月議会報告 ..... P2
- 立石の市政に対する代表質問 ..... P3~5
- 任期4年間の活動をふり返る ..... P6~20

## 11月議会定例会開催される

11月25日～12月20日まで

### ■開会の概要

- ◇11月25日に開会し、令和6年度一般会計補正予算をはじめ、31議案が市長より、また議員より1件の議案が提案されました。
- ◇審議の結果、全議案が可決承認され、12月20日に26日間の会期を閉じました。

### ■提出された主な議案

- 令和6年度袋井市一般会計補正予算[第6号]について  
公共施設の光熱水費の追加など
- 令和6年度袋井市一般会計補正予算[第7号]について  
人事院勧告に伴う人件費の補正
- 袋井市コミュニティセンター条例の一部改正について

他29議案

### ■市長による施政報告より(抜粋)

#### 1. 産業戦略官の就任について

産業分野での経験が豊富で、経営感覚や事業の推進力を備えた産業戦略官を採用、12月2日に就任する。戦略官は、以下の政策展開に関わる。

- ①第2・3次産業の誘致
- ②農産物のブランド化による国内外への情報発信
- ③首都圏等への袋井の魅力のPR、シティプロモーションを通じた移住政策等

#### 2. 厳しい財政状態

令和5年度決算は、実質的な財政収支が赤字となった。令和7年度の予算編成では、下記の点に留意する。

- ①事業の成果の見える化(根拠の明確化)、事業の選択と集中
- ②枠配分方式から一件査定方式への予算編成方式の見直し

#### 3. 袋井市地域防災訓練の重点取り組み(12/1)

- ①能登半島地震を教訓とした濾水機を活用した飲料水確保訓練やトイレの設置訓練など
- ②男女共同参画や外国人などの視点を取り入れた避難所設営訓練など



トイレ設置訓練の様子





# 立石の市政に対する「代表質問」

## ■質問の趣旨

- ①令和5年度の決算では、実質的な財政収支は赤字となりました。この厳しい財政状況を踏まえ、どのようにして効果的・効率的な予算編成を行うのか質問しました。
- ②令和3年度の選挙戦における市長のマニフェストや、議会において市長から市民に示されたさまざまな考え方が、ふり返ってどの程度実現できたのか質問しました。

## ①令和7年度の予算編成

**問** 本市の財政を取り巻く環境が厳しさを増す中、今後、廃止や縮小しなければならないものの基準をどのように考えているか。

**答** 費用対効果はもとより、目標に対して事業の成果が得られているか、事業や業務自体をなくせないかといった縮小、廃止や、二つの業務を一緒にできないか、機能を合わせられないかといった結合、業務手順や工程の入替え、アプローチ方法の変換といった交換、業務内容や手順の単純化といった簡素化の四つの視点で事業を見直している。



ふるさと納税(イメージ)

**問** ふるさと納税は、和5年度寄附額は12億8,000万円余、実収支で4億円余の収入だった。今後さらなる取組を期待するが、その戦略を伺う。

**答** 寄附者の共感を得ることができる物語をつくり上げることが重要だと考えている。消費者動向や寄附のトレンドなどを把握し、マーケティングや効果的なサムネイル画像の作成方法、ふるさと納税サイトの効果的な運用方法などを調査・研究し、さらなる寄附獲得に向けた効果的な取組にも努めたい。

## ②大場市長の1期目をふり返って

**問** 企業誘致や新事業の創出、製造品出荷額等の目標達成状況については、ふり返って、どの程度実現できたか。

**答** 植物工場テクノファーム袋井、小笠山工業団地で遠州フォレストエナジー発電所を誘致した。また、土橋土地区画整理事業地内で2026年12月の操業を目指す大和ハウス工業中部工場の移転に取り組んでいる。製造品出荷額等は、2022年の2024年の目標値6,600億円に対する達成状況は113.2%と目標値を超えている。



土橋土地区画  
整理事業地

**問** ICTを活用した子供たちの人間力・課題解決能力の育成については、思いは実現できたか。

**答** 本市では、2022年度から教育委員会内に未来の教育推進室を設け、ICT教育専門官の招聘、ICTを活用した授業研究や研修を精力的に実施してきた。各学校では、デジタル学習ドリルの活用、タブレットに可視化した上での他者との会話や議論、体育や音楽での実技の録画による学びの客観視、不登校児童生徒のオンライン授業参加など成果を上げている。

●本レポートに掲載の「一般質問」「代表質問」は一部を抜粋したものです。掲載の2次元バーコードで、または直接袋井市議会のホームページにアクセスしていただければ、全体の録画放送をご視聴いただけます。



# 立石の市政に対する「代表質問」

## ■質問の趣旨

- ③石破内閣は、所信表明演説で「地方創生2.0として再起動させる、当初予算で交付金倍増を目指す」と強調しました。そこで、今後の本市の地方創生について質問しました。
- ④本市では、これまでのICT推進計画をアップデートした「第1次袋井市デジタル推進計画」を令和6年4月スタートさせました。そこで、本計画の展開について質問しました。

## ③地方創生

**問** 国の方針を受けて、袋井市の第3期の地方創生をどのように組立て計画策定していくのか。

**答** 国の政策動向を注視するとともに、現在、策定を進めている第3次袋井市総合計画での議論やまちづくりの方向性を踏まえ、2025年度末を目途に、次期総合戦略の策定を進める。



クラウンメロン(ブランド力向上、販路拡大)

**問** これまで袋井市は地方創生に係る交付金は国から幾らいただいたのか。その費用対効果は。

**答** 交付金総額は約34億円。主な内訳は、ICT教育や英語教育の実施、クラウンメロンのブランド力向上や販路拡大、風鈴まつりや遠州三山のライトアップ、コミュニティセンターの情報発信にLINEを活用、新型コロナウイルス感染症対策や物価の高騰に対する生活困窮者への支援、ふくろい応援商品券や袋井ふるさと農産物応援便、省エネ家電の買換え促進や給食費の負担軽減など交付金の活用によって、総合計画に掲げた各取組が着実に推進され、市民の暮らしを守り、地域の産業や経済活動の下支えにつながったものと認識している。

## ④デジタル

**問** 浅羽支所の「らくらくサポート窓口」利用のメリットはどうか。

**答** 窓口では、マイナンバーカードを活用し、申請者の住所や氏名などの基本情報を書類に記載する手間を省略することや、コンビニ交付と同じ仕組みで証明書を交付できるようにしており、申請手続に関する市民と職員双方の負担を軽減する利点がある。さらに申請をサポートするコンシェルジュを配置し、デジタルが苦手な方でも安心して利用できる環境を整えている。4月の開設以来、延べ1,000人以上がこの窓口を利用し、おおむね好評をいただいている。



AI(イメージ)

**問** 本市におけるAIの導入・活用状況はどうか、今後どのようなAIの活用が期待できるか。

**答** 袋井市ホームページへの問合せに回答するAIチャットボットを導入したほか、生成AIを採用し、文章の下書きや事業のアイデア出しなど、日常的な業務で利用している。今後は、中小企業の労働力不足への対応、また、生成AIにより映像や音楽の制作が容易となり、市民主体のイベントなどの機会が増えることで、地域の活性化やにぎわいの創出が期待される。



# 立石の市政に対する「代表質問」

## ■質問の趣旨

- ⑤ 先の9月議会にて、本市の中小議業及び小規模企業振興基本条例が制定され、令和7年1月から施行されました。理念条例とならぬよう、今後の展開について質問しました。
- ⑥ 11月7日、石川県小松市を訪問し、子育て支援施策の先進事例を調査研究しました。そこで、小松市の独自事業のいくつかを、袋井市で導入できないか質問しました。

## ⑤ 中小企業振興

**問** 市内商工団体の要望や意見を踏まえ、令和7年度の中小企業の支援をどう考えているか。

**答** 中心市街地や浅羽地域等への空き店舗対策、個店の魅力・ブランド力を高め、新規顧客やリピーターの獲得につなげる取り組み、中小企業の人材確保支援、事業環境の変化や物価高騰への対策、小規模企業のDX支援など、中小企業の稼ぐチカラの向上に向けて取り組みたい。



袋井市中小企業及び小規模企業振興基本条例

**問** 労働団体の要望にどのように対応するのか

**答** 障がい者の法定雇用率引上げに向けたマッチング及び働きやすい環境整備支援、ワーク・ライフ・バランス等の職場環境の改善支援、ハラスメント防止に関する法改正の趣旨の周知や防止対策に関する支援など、積極的に取り組みたい。

## ⑥ 子育て支援施策(小松市視察から)

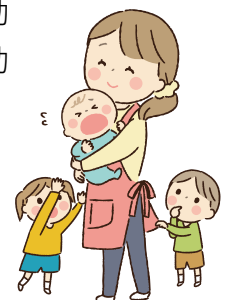
**問** 小松市独自の下記3事業は、袋井市でも導入可能と考えるがどうか。

- ① 赤ちゃん紙おむつ定期便(生後3ヵ月～1歳、毎月1回)
- ② 妊産婦タクシー利用料金助成(3000円券4枚)
- ③ 子どもの任意予防接種費用助成(～高校、おたふく風邪以外にインフルエンザも対象)

**答** ①紙おむつなど物資の支援は考えていないが、妊娠期、新生児期、乳幼児期の各時期の悩みに寄り添い、切れ目のない相談支援に努めたい。

②小松市の取組を参考に、国の補助金活用なども視野に入れ検討したい。

③予防の必要性が高い疾病については、ワクチンの有効性や費用対効果などを十分に検証し、助成の必要性を検討したい。



**問** 小松市では子育て施策をペーパー一枚にまとめてPRしている。袋井市では教育委員会の事業も、小松市では市長部局で一元管理している点は、袋井市でも参考にすべきと考えるがどうか。

**答** 小松市のPRチラシを参考にさせていただき、作成したい。



# 定例会での質問一覧

## ■活動の概要

◇立石やすひろは、任期4年間(令和3年度～6年度)に開催された9回の市議会定例会において、一般質問で18テーマ、会派代表質問で25テーマ、計43のテーマについて、市政に対する質問を行い、行政の問題点・課題を指摘し、改善提案しました。その他、委員会にてもさまざまな質問を行っています。

### 総務・企画・財務・行政改革

- ①市職員が健康で働ける職場環境の整備 (R3/6)
- ②よりよい行政改革への提案(R4/2)
- ③令和5年度の予算編成方針(R4/11)
- ④ICTの推進(R4/11)
- ⑤FMラジオ局の開局(R4/11)
- ⑥行政の事務処理ミスで発生した問題の原因と対策(R4/9)
- ⑦令和6年度の予算編成方針(R5/11)
- ⑧デジタル化の推進(R5/11)
- ⑨市職員の自己肯定感を高める取り組み (R5/11)
- ⑩市役所窓口対応の市民満足度向上(R6/6)
- ⑪市役所の定型業務におけるミス撲滅(R6/6)
- ⑫令和7年度の予算編成方針(R6/11)
- ⑬市長の1期目の3年半をふり返って(R6/11)
- ⑭地方創生(R6/11)
- ⑮デジタル(R6/11)



デジタル化(イメージ)

### 子育て・教育

- ①子育てと仕事の両立支援(R4/2)
- ②小中学校のいじめ・不登校対策(R5/2)
- ③学校で自己肯定感・有用感を高める取り組み (R5/11)
- ④袋井商業高校、横須賀高校の今後(R5/11)
- ⑤子育て支援施策、小松市視察から(R6/11)



子育てと仕事の両立(イメージ)



いじめ(イメージ)



横須賀高校



# 定例会での質問一覧

## 健康・介護・福祉

- ①高齢者の介護予防と生活支援の推進(R3/6)
- ②通いの場の会場数増加対策(R4/11)
- ③生活困窮者の緊急支援対策(R5/2)
- ④がん撲滅に向けて(R5/11)
- ⑤地域密着型介護サービス事業の課題(R5/11)
- ⑥介護予防・日常生活支援総合事業の運用基準の変更(R6/6)



通いの場(でん伝体操会場)



移動販売:高齢者の買い物支援



医療、看護(イメージ)

## 産業・環境

- ①ごみ処理有料化の取り組みへの提案(R3/9)
- ②可燃ごみ減量の取り組み(R4/2)
- ③脱炭素化、成果と今後の取り組み(R4/11)
- ④可燃ごみ削減プロジェクト(R4/11)
- ⑤ゼロカーボシティ宣言の取り組み(R5/11)
- ⑥可燃ごみの削減(R5/11)
- ⑦中小企業振興(R6/11)



公共施設での太陽光発電(イメージ)



雑紙の分別収集



中遠クリーンセンター



# 定例会での質問一覧

## 防災・都市建設

- ①治水問題 (R4/11)
- ②防潮堤完成と安全宣言の発信 (R5/2)
- ③サンドバイパス事業 (R5/2)
- ④三沢川の河川維持管理 (R5/2)
- ⑤防災・減災対策 (R5/11)
- ⑥サンドバイパス事業 (R5/11)



中新田:昭和水門の耐震化



三沢川の増水



三沢川堤防の雑木伐採

## 地域・歴史文化・国際交流

- ①自治会への個人情報保護法の適用指導 (R3/9)
- ②自治会による要望制度、補助制度(R4/11)
- ③郷土の歴史・文化資源の保存と地域振興への活用(R4/9)
- ④浅羽支所を中心とした歴史文化ゾーンの活用(R6/6)



自治会要望:側溝の安全化



地域の文化財



手前:近藤記念館(奥:郷土資料館)



# 浅羽中学校 新校舎の落成式が行われる。

Vol.2掲載記事(令和4年5月発行)

- ◇老朽化に伴い、令和2年度から工事を進めてきた浅羽中学の新校舎が完成し、3月24日、落成式が行われました。
- ◇南校舎と北校舎の間に、新校舎と武道場が新築となり、北校舎は改修となりました。これにより、従来の南校舎と武道場は年内に撤去されます。

## 多様な森と共生する思い出の学び舎がコンセプト



中庭



- 式典には市長、市議会議員、学区の連合自治会長など約40名が出席し完成を祝いました。



落成式

- 新校舎と北校舎の間には「創作の森」「学びの森」と名付けられたウッドデッキが新設されました。

- 新校舎は幅広(8m)の中廊下に4箇所の吹き抜けを配置することで、教室に採光と通風を確保しています。



新校舎の中廊下



鳥観図(令和4年末)

- 従来の南校舎の跡地は「交流の森」、武道場の跡地は駐車場として整備されます。

# 横須賀・池新田高の再編案、「撤回」へ

Vol.6掲載記事(令和5年5月発行)

- ◇平成29年11月、県教育委員会が、「ふじのくに魅力ある学校づくり推進計画」案で、令和8年度をめどに、横須賀高と池新田高を統合することを発表しました。
- ◇令和4年10月18日開かれた小笠地域協議会において、県教育長は、一度白紙に戻して在り方を考えたいとして、両校の再編案の撤回を表明しました。



横須賀高校

## 横須賀高の地区別生徒数(令和4年度)

市町	生徒数	割合
掛川市	153人	43.0%
袋井市	109人	30.6%
磐田市	81人	22.7%
その他	13人	3.7%
合計	356人	100%

\*袋井市出身の生徒数が全体の30.6%。横須賀高の存続は、袋井にとっても影響が大きいと言えます。

## これまでの経緯

平成29年11月	県教育委員会が、「ふじのくに魅力ある学校づくり推進計画(第3次長期計画)」案で、令和8年度をめどに、横須賀高校と池新田高校を統合することを発表。
12月	横須賀高校を守る会結成(会員33名で発足)。統合反対の署名活動を開始。1月足らずで1万人を超える署名が集まる。
平成元年 8月	県教育委員会他関係機関へ存続要望。
令和2年 9月	横須賀高校を守る会→南遠地域教育環境整備推進協議会(南遠協議会)に移行。横須賀高校存続活動の更なる推進を決議。
令和3年 10月	県教育委員会幹部と掛川市、南遠協議会の意見交換会で存続を要望。
令和4年 5月	県教育委員会が県立高校の在り方見直しを表明。
10月	県教育委員会主催の小笠地区地域協議会で県教育長が再編案の撤回を表明。

## 南遠協議会、今後の取り組み

- 横須賀高の地元支援組織である南遠協議会は、今後は、小笠地区に限らず中東遠地域での魅力ある学校づくりへ提案型の活動をしていくとして、次の3つの取り組みを決め、スタートしました。
  - ①県教育委員会、掛川市と意見交換会
  - ②横須賀高校の事業への協力
  - ③魅力ある横須賀高校を創るためのワークショップの開催



再編案撤回を伝える南遠協議会の会報

# 小笠山工業団地開発事業、現状と今後

Vol.6掲載記事(令和5年5月発行)

- ◇市の財政基盤の確立及び雇用機会の創出、地域経済の活性化を図るため、平成18年度から小笠山工業団地の開発計画がスタートしました。
- ◇令和5年5月現在、南側区画に2社の誘致が決定しています。今後、県東京事務所等と連携し、県内外へ誘致活動を積極的に展開します。

## 木質バイオマス発電所の建設に向けた造成工事が始まる!

### 令和4年度の実施状況

- A区画⇒尾形工業(株)(自動車部品製造)へ分譲。
- 市道上区32号線(岡崎)⇒舗装工事実施・完成。
- B区画及びC区画の一部⇒遠州フォレストエナジー(同)(木質バイオマス発電)、造成工事に着手。
- E区画⇒塚本建設(株)、第1期工事実施(R3~R6)。発生土を防潮堤整備事業へ搬出開始。



令和4年9月末

### 令和5年度以降の予定

- A区画⇒尾形工業(株)が建築工事に着手。
- B区画及びC区画の一部⇒遠州フォレストエナジー(同)が建築工事に着手。
- E区画⇒塚本建設(株)、引き続き第1期工事を実施するとともに発生土を防潮堤整備事業へ搬出。



令和5年3月末



E区画の造成工事



発生土搬出前に受水槽で車輪を洗う

発生土の防潮堤搬入箇所(左:湊、右:中新田)



搬入箇所 約0.70km

搬入箇所 約0.54km

# 防潮堤整備・サンドバイパス事業、現状と課題

Vol.6掲載記事(令和5年5月発行)

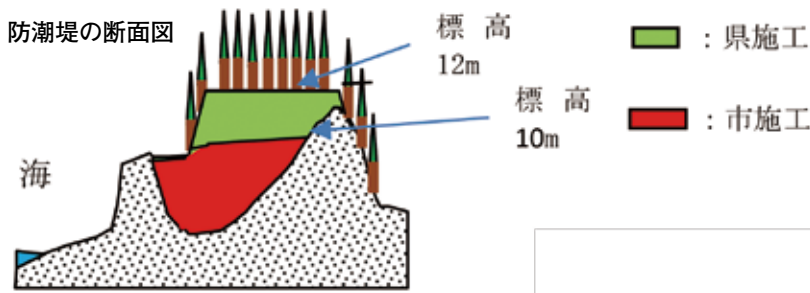
- ◇平成25年度に始まった浅羽海岸5.35kmの防潮堤整備事業は、令和5年度で市の施工分が終了、令和7年度で県の施工分が終了し、防潮堤が完成する予定です。
- ◇福田港・浅羽海岸のサンドバイパス事業は、福田港の西堤防西側に堆積した砂をパイプラインで浸食が進む浅羽海岸へ運ぶ事業で、平成26年度に開始しました。

## 防潮堤整備事業

- 袋井市が施工する盛り土は、小笠山工業団地開発事業の発生土を活用し、標高10mまで施工し、令和5年度末の完成を目指します。
- その後、静岡県による盛り土を標高12mまで施工し、令和7年度までに完成する予定です。



盛り土造成工事



防潮堤の整備状況

## サンドバイパス事業(土砂輸送量低下の恒久対策が課題)

- 近年、土砂吸い込み口付近に木材・レキ等の障害物が堆積し、土砂輸送量が低下しています。
- 障害物除去の恒久的対策、設備や運転方法等の最適化を図り、目標年間土砂輸送量8万 $m^3$ の確保を目指します。



土砂輸送量の推移

年度	土砂輸送量
H26年度	51,188 $m^3$
H27年度	88,696 $m^3$
H28年度	81,493 $m^3$
H29年度	57,106 $m^3$
H30年度	45,168 $m^3$
R01年度	20,767 $m^3$
R02年度	26,878 $m^3$
R03年度	22,523 $m^3$
R04年度	29,370 $m^3$

# Fukuroi Central Park 構想

フクロイ セントラル パーク

- ◇平成19年度策定の「袋井駅南地区まちづくり構想」に基づき、新幹線南側エリアの、にぎわいとうるおいのある健康的な都市空間の創出に向けて、整備していく事業。
- ◇エリア内に、水辺に親しめる遊水池公園及び柳原雨水ポンプ場の整備も内包しており、周辺地域全体の治水安全度向上を前提として推進します。

## にぎわいと魅力ある都市空間の創出



全体	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15
①土地利用に向けた整備 緑のにぎわい・快適居住ゾーン	構想	基本計画	測量調査・基本、詳細設計 事業者決定・用地取得								整備工事	
②水災害対策 柳原雨水ポンプ場 防災ゾーン	測量調査・詳細設計 用地取得			整備工事							供用開始	
遊水池公園 緑のにぎわいゾーン	基本計画 （コンシレーション）	測量調査・詳細設計 用地取得		整備工事 （遊水池機能）			供用開始				整備工事 （公園修景）	
③各種手続きの調整等	関係機関との調整・財源として国県補助金の調整 各種法手続きなど											

# 海のにぎわい創出プロジェクト

- ◇令和4年度策定の「袋井市海のにぎわい創出ビジョン」に基づき、浅羽海岸同笠エリアの環境整備を行い、官民が連携してにぎわい創出を進めていきます。
- ◇自然環境や景観、太平洋岸自転車道、隣接する浅羽体育センターを活かし、市民の憩いの場や交流の場を創出します。各施設は整備進捗に合わせオープンします。

## 海を接点とした地域活性化プロジェクト

○これまでの意見交換や試行実証の結果を踏まえ、同笠エリアが有する地域資源としての価値を最大限活用していくため、本計画において、図のとおり整備を計画した。(詳細は次項目以降参照)

- 進入口付近緑化等高質空間整備
  - ・実証イベント時に大規模駐車場エリア北西及び海側に「DORI」ロゴを設置
  - ・エリアの一体感醸成とともに、来訪者を迎入れる玄関口としての機能の必要性を確認(撮影スポットとしての利用も)(駐車場の「DORI」ロゴ)



- アーバンスポーツ施設
  - ・サーフィンスクール(実証イベント)や地元サーファーとの意見交換を通じて、スケートボードなどアーバンスポーツとの親和性やニーズを確認

- 大規模駐車場
  - ・既設駐車場が狭くラインも消えてしまっている
  - ・利用者が増えた際の安全性に不安
- RVパークの整備
  - ・車中泊ニーズの拡大
  - ・早朝から満車になる防潮堤北側駐車場(県外ナンバーも多い)

- 休憩・交流施設兼トイレ整備、ふれあい親水公園改修
  - ・清潔なトイレが欲しい(海岸利用者、実証イベントなど来訪者)
  - ・日陰で休め憩える休憩・交流施設があるといい
  - ・実証イベント時の来訪者動線を踏まえ、ふれあい親水公園東側が、海との結節点になっていることを確認
  - ・ふれあい親水公園の機能回復を望む(有効活用してほしい)



- 芝生広場の一体化(園路の整備含む)
  - ・実証イベント時のステージイベント及びブース出展
  - ・芝生広場(東側)のこども緑日が好評でも、中央通路により一体活用(さらなるにぎわい創出)に課題が残った

- 段床展望スペース、南北道路交流スペース
  - ・海をのんびり眺められる場所が欲しい
  - ・人が集う空間にして欲しい

- 階段の改修・手摺り設置
  - ・階段に手摺りがあると安心

- 車両進入路の幅幅と歩行者道路の新設
  - ・進入路の安全性が心配(実証イベントほか)

- <マリナクティビティ>
  - ・(同笠海岸はサーフィンや釣りの有名なスポット)

- シャワー、水洗場
  - ・砂浜への入り口に砂を洗い落とす水道設備があるといい(サーファー、実証イベント)

- 海辺の駐車場
  - ・砂浜から見える場所に駐車場が欲しい(車上荒らし等の防犯対策を含む)



浅羽海岸にて

# こども交流館あそびの杜

- ◇浅羽支所が、引き続き市南部地域の拠点として、持続的発展に寄与する施設となるよう、令和元年から利活用についての検討がスタートしました。
- ◇その結果、令和2年1月の総務委員会にて、支所機能を維持したうえで子育て世帯が集い、周辺施設との連携によりにぎわいの拠点としていくことが了承されました。

## 文教ゾーンのにぎわいづくり

あそびの杜に「遊びゾーン」、「学びと体験ゾーン」、「にぎわいと憩いのゾーン」を整備する。

### 遊びゾーン

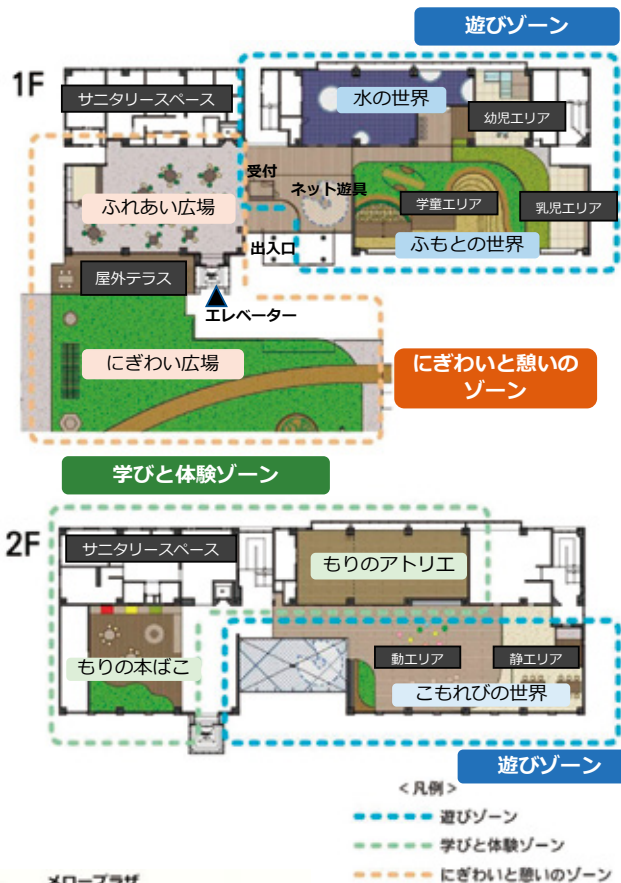
- ◎雨や猛暑の日などでも体を使った遊びができるゾーン  
自ら選択できる環境の中で、様々な遊び方を追求できる空間を提供することで、子どもたちの好奇心やチャレンジ精神を刺激する。  
また、くぐったり登ったりなど遊びながら全身を使うことで、運動能力の向上を目指す。

### 学びと体験ゾーン

- ◎創作体験や読書を通して様々な学びや体験ができるゾーン  
子どもたちの好奇心や興味を引く多彩な創作体験により、豊かな感性や創造力を育むとともに、他者との活動を通して協同性やコミュニケーション能力の向上を図る。  
また、多様な本との触れ合いにより、豊かな心や想像力を育む。

### にぎわいと憩いのゾーン

- ◎様々な人たちが交流や休憩ができるゾーン  
子育て世代を中心に多様な世代がリラックスしながら利用し、人々の交流やつながりを生む。  
また、人との関わりを通じて子どもたちの社会性を育む。  
さらに、オープン空間を活用し、地域のにぎわいを創出する。



様々な文化活動に触れることができる文教ゾーン

子どもから大人まで幅広い層が集い、様々な体験や交流が生まれる場、地域の方々の活躍の場としてにぎわいを創出する。



新しい出会いと交流によりにぎわいが生まれる場所



浅羽支所

## 活発なベトナムとの民間交流

- ◇梅山の常林寺には、日越友好の歴史的価値が注目される浅羽佐喜太郎公記念碑があり、訪れるベトナム人が着実に増加しています。
- ◇令和5年、日越外交関係樹立50周年を迎え、記念事業として11月1日から7日間ベトナム訪問事業が行われ、袋井市からは31名が参加しました。

### 民間交流が国どうしの友好に大きな役割を果たす



#### ベトナム大学生と交流(週1回)

フエ外国語大学の学生と週1回 Zoom で交流、10チームで約30名の日本語学習を支援しています。



#### テト(春節)のつどいに参加(R5/1)

在静岡県ベトナム人会が主催する交流行事に参加、一緒に春節を祝いました。



#### 増加するベトナム観光客(R4/9)

ベトナムからのツアー客が観光バスで常林寺を訪問するケースが増えています。



#### 駐日ベトナム大使が訪れる(R6/1)

公務で訪問が延期されていましたが、ヒエウ大使が婦人とともに常林寺を訪れました。



#### サッカーチームが訪れる(R5/6)

ベトナムサッカーU17のナショナルチーム40人が常林寺を訪れました。



# 政務調査活動

- ◇袋井市の課題解決のため、先進自治体を訪問し政策を調査研究したり、各種研修会に参加しています。成果は議会や委員会での質問や政策提案に反映しています。
- ◇上記の政務調査活動には、議員一人当たり、年30万円の政務活動費が支給されますが、未使用額が生じた場合は返金します。

## 先進自治体の政策を調査研究する



国土交通省 (R6/12)

### 調査研究テーマ

- ①日本型ライドシェア、公共ライドシェア
- ②国土交通省公共交通政策



東京都 日野市 (R4/7)

### 調査研究テーマ

- ①可燃ごみ削減の取り組み
- ②製品プラスチック資源化の取り組み
- ③粗大ごみリユースの取り組み



群馬県 太田市 (R5/8)

### 調査研究テーマ

- ①ISOを活用した行政サービス向上の取り組み
- ②多文化共生のまちづくりの取り組み



石川県 小松市 (R6/11)

### 調査研究テーマ

- ①予算決算常任委員会の運営手法
- ②子育て支援制度の概要
- ③子育て支援施設「カブッキーランド」事業の概要

# 活動日記(令和3年度～6年度)

4月



**当選証書の授与式**



**まちづくり協議会 理事会に出席**

まちづくりの課題が解決できるよう、地域と行政のパイプ役を果たしています。



**公会堂で議会報告**

いきいきサロンや老人クラブの常会にて、市議会や市政の様子を分かりやすく説明しています。

5月



**メーデーに出席**

働く者の福祉の向上を謳う聯合静岡中遠地協主催のメーデーに出席しました。



**消防団を激励**

消防団の水出し訓練を見学、団員を激励しました。



**献茶式に出席**

茶業の振興を祈願し、茶祖栄西禅師を顕彰する献茶式に出席しました。(油山寺)

6月



**コミセン講師を務める**

すなっこ学級・むつみ大学・女性学級を対象に、「心をはぐくむ講座」の講師を務めました。

8月



### ボランティア活動

通学路での小学生の見守り、協働運行バス(めだか号)の運転を担当しています。



### 山崎の農家を訪問

夜間ハウスの近くにイノシシが現れるようになり、心配していました。



### 小笠山工業団地の造成地を視察

岡崎地内の現場を視察、造成の発生土を活用し浅羽海岸の防潮堤が整備されます。



### 浅羽海岸の防潮堤を視察

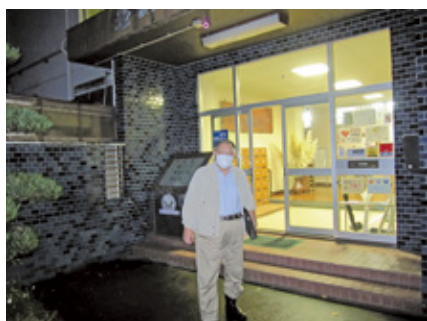
市施工分の高さ10mは令和5年度に、県盛り土分を加えた高さ12mの完成は令和7年度の予定です。

9月



### 台風15号の影響を確認

9月24日、台風による各河川の増水状況を確認しました。(左から、新切橋南、三沢川、新堀排水路)



### 笠原小の避難場所を視察

台風14号の接近に伴い、市の指定避難場所の夜間の開設状況を視察しました。

10月



### めだか公園の愛護活動

東浅羽めだか公園愛護会の仲間に入れていただき、清掃作業に参加しました。

11月



**「ふれあい夢市場」に参加**  
コロナ禍で2年中止となった夢市場、今回は運営側で参加しました。



**自治会長会議へ出席**  
自治会長会議に出席、市政とのパイプ役をはたしています。



**11月定例会の議場にて**  
市民クラブ会派として大庭通嘉議員と一緒に活動しています。

12月



**商工会の会議へ出席**  
地元商工会の理事会へ出席、事業者の皆様に関連する市政情報を報告しています。



**市民と意見交換**  
「住みよいまち」をテーマに、袋井特別支援学校高等部の保護者・教員と意見交換しました。

2月



**コミセンで研修講師を務める**  
地域の皆さんのチームワークづくりを目的に研修講師を務めました。

## 所属する会派・委員会等のお知らせ(令和5年度~6年度)

### 所属する市議会会派

- 市民クラブ  
大庭通嘉 議員(会派長)  
立石泰広 議員

### 所属する委員会等

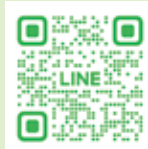
- 【市議会】
- 総務委員会 副委員長
- 議会活性化特別委員会 委員
- 広報広聴委員会 委員

### 【市議会以外】

- 中遠広域事務組合議会 議員
- 掛川市・袋井市病院企業団議会 議員
- 中東遠看護専門学校組合議会 議員
- 県道袋井大須賀線外二線整備促進期成同盟会 委員
- 二級河川弁財天川水系改修促進期成同盟会 委員

## 立石やすひろ 公式LINE

議会レポート等の最新情報をお届けします。  
LINEで立石宛ご意見を発信できます。



左の2次元バーコードを読み取り  
友だち追加してください。

## ■ 皆様のご意見をお寄せください ■

### 立石やすひろ事務所

袋井市新堀112  
TEL 090-6766-6071 FAX 0538-86-3728  
E-mail: info@tateisi-sg.com



### 立石のホームページ

<https://www.tateisi-sg.com>



■「立石やすひろの議会レポート」は自費によるもので、公費(政務活動費)は使っていません。■